

発達探偵

仮説くん！

～発達が気になる子どもへの支援～

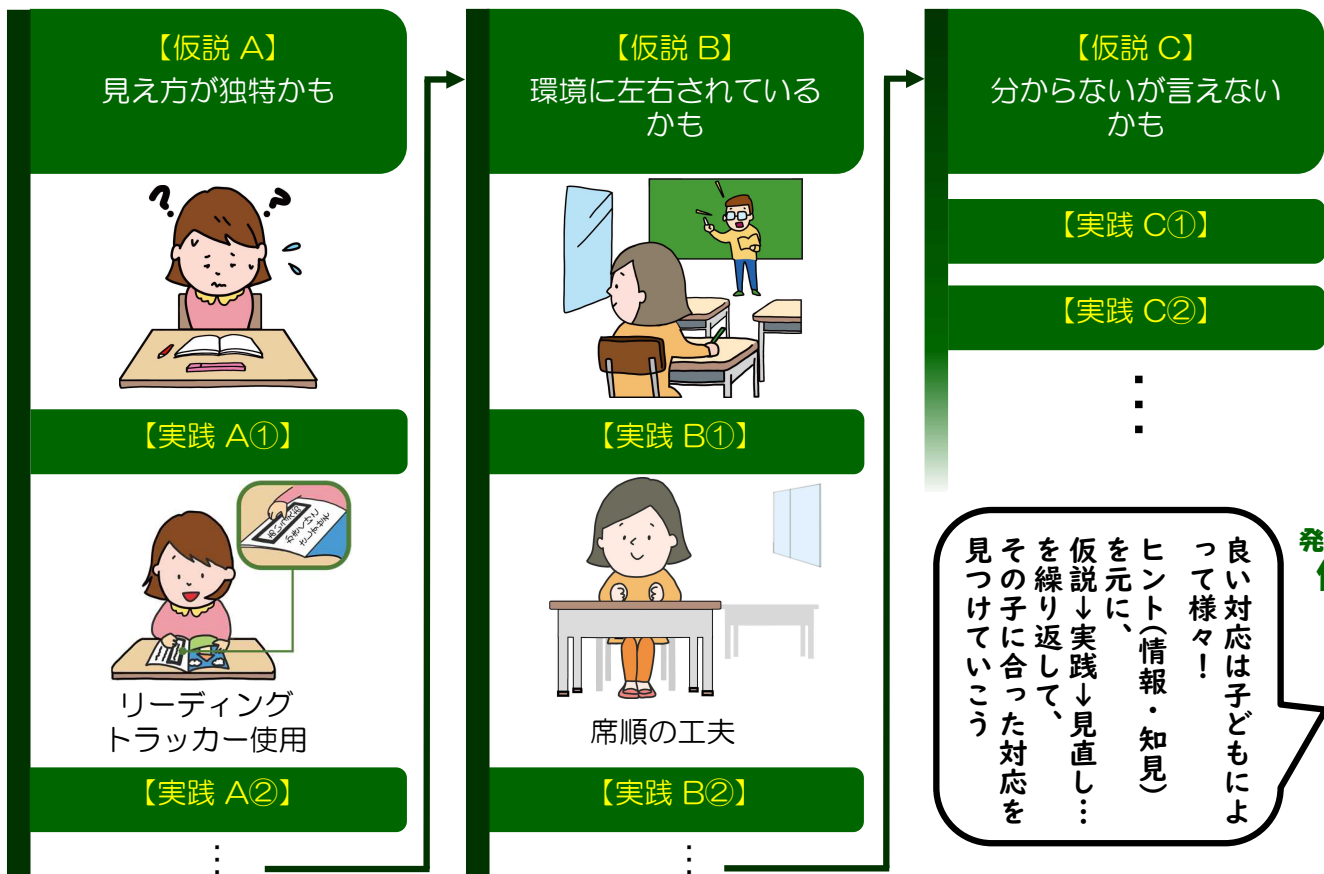
グループワークシート



沖縄県発達障害者支援センター がじゅま～る

支援のキーワード「仮説・実践」

例：勉強に集中できない



子どもの見る際のポイント

1. 子どもへの関わり方に“正解”はない
『仮説』→『実践』→『検証』の試行錯誤を行う
2. 仮説を考えるためには、発達障害への理解が有効
研修、書籍など情報収集を行う
3. 一人だけで仮説や実践を考えると偏ることがある
同僚や他職種からヒントをもらいながら、
仮説と実践の引き出しを沢山持つ
4. 上手くいった仮説実践は形に残すことで、
自分の引き出しになり、次に関わる人へのヒント
になる

発達探偵をやってみよう【練習】



小学校3年 Aくんが困っている場面

運動場の全校集会で列から離れてしまう

【仮説 A】

聴覚過敏があり、
スピーカーの音が嫌になり
離れてしまう

実践*複数記入OK

- ①スピーカーから離れた場所に
移動をさせる
- ②全校集会の流れを渡し、
大きな音なる箇所を事前に
伝える
- ③イヤーマフ、ノイズキャン
セラーイヤホンの使用

【仮説 B】

実践*複数記入OK

仮説Bと実践方法を
書いてみよう

・これまでの経験や
研修で得た知識が参
考になるよ

決まった正解はあり
ません！
まずは仮説と実践案
をあげてみるものが
大切です。



発達探偵団をやってみよう

発達探偵団をやってみよう シート1

困っている場面

①

仮説を考える上で、必要となる情報MEMO
*聞きたいことを書いてみよう

【仮説 A】

【仮説 B】

実践 * 複数記入OK

実践 * 複数記入OK

②

③

- 複数人で行うことが望ましいです。
- 正解、を探すのではなく沢山の仮説・検証の方法を持ち寄ることが目的です。それぞれの視点を大切に、非難しないようにしましょう。

ワークの手順

- ① 話し合いたい対象のシェア
- ② 仮説・検証を行う上で必要な①以外の情報を聞き取る
- ③ 仮説とその仮説にあった実践方法を考える
- ④ 考えた仮説・実践方法をシェアする
- ⑤ こどもの実態に近いと思われる仮説、実際に取り入れやすい実践方法の順番に、検証を行う優先順位を決める
- ⑥ シート2を基に、取り組む仮説と、それに対応した実践①、実践②…とまとめる。

発達探偵団をやってみよう シート2

仮説	実践	優先順位

④

⑤

支援のキーワード「仮説・実践」 シート3

【仮説 A】	【仮説 B】	【仮説 C】
実践方法	実践方法	実践方法

⑥

発達探偵団をやってみよう

シート1

さんが困っている場面

場面：

書き方：どこで、何をしている時、どんな行動を行う

仮説を考える上で、必要となる情報MEMO
*聞きたいことを書いてみよう

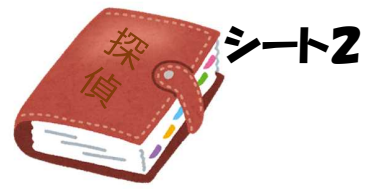
【仮説 A】

実践 * 複数記入OK

【仮説 B】

実践 * 複数記入OK

発達探偵団をやってみよう



仮説	実践	優先順位

発達探偵団をやってみよう

シート3

<p>【仮説 A】</p> <p>実践方法</p> <p>⋮</p>	<p>【仮説 B】</p> <p>実践方法</p> <p>⋮</p>	<p>【仮説 C】</p> <p>実践方法</p> <p>⋮</p>
------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------